

戦傷病とは

～ 第 1 部 戦傷 ～

開催趣旨

「戦傷病」とは「軍人、軍属、準軍属の公務上の傷病」のことですが、戦後 70 年を迎え、戦傷病者とその家族が高齢化する中、若い世代では「戦傷病」を具体的にイメージするのが難しくなりつつあります。

企画展では、「戦傷病」を「戦傷」と「戦病」に分け、2部構成で紹介します。今回の夏の企画展では、第1部として「戦傷」について紹介し、「戦病」については、第2部として、来春に開催予定の企画展で紹介します。

戦地における傷病には、多様な原因があり、傷病名も様々です。

「戦傷」は、銃砲による「銃創」「破片創」などの『射創』、爆弾や地雷、ガスなどの爆発による「爆創」「爆風創」などの『爆傷』や『熱傷』、銃剣などによる『刀創』など多岐にわたります。

また、受傷した部位によって現出する症状も多様で、合併症、外傷に起因するショック、精神障害、後遺障害などもあり、これらが複雑に関連しているのが、「戦傷」の特徴でもあります。

現在の外科ではほとんど見ることができない症例も含めた「戦傷」を、貴重な資料と写真で分かりやすく解説し、戦傷病者とその家族の労苦を伝えます。

-
- 主 催： しょうけい館(戦傷病者史料館)
会 期： 平成 27(2015)年 7 月 22 日(水)～9 月 27 日(日)
会 場： しょうけい館1階
入 場 料： 無料
開 館 時 間： 10:00～17:30(入館は 17:00 まで)
休 館 日： 毎週月曜日(祝日は開館)、9 月 24 日(木)
内 覧 会： 平成 27(2015)年7月 22 日(水)10:00～12:00
関 連 イベント： 学芸員による展示解説 第1、3、5土曜日 14:00 より 30 分程度、申込不要

www.shokeikan.go.jp



病床日誌 (カルテ)



受傷証明書 (復員時)



多数の破片が見える頭部の X 線画像



体内に残った銃弾が見える胸部 X 線画像



負傷者に対する軍医の診断、手術



手術後のギブス、包帯などの処置